

福井・石盛遺跡 いしもり

1 所在地 福井市石盛町

2 調査期間 二〇〇二年度調査 二〇〇二年(平14)七月～二〇〇三年三月

3 発掘機関 福井市文化財保護センター

4 調査担当者 天谷賢一・長谷川健一・三澤繁忠・大川進・高木康行

5 遺跡の種類 城館跡

6 遺跡の年代 古墳時代～室町時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

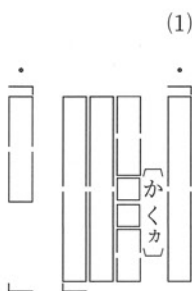


(福井)

調査地は福井市北部、旧北陸道沿いの石盛町集落の東側水田に位置する。「館ノ中」「館ノ前」の字名が残っており、石盛城に比定されている。調査では堀を伴う城館跡の一部が確認され、館内部で掘立柱建物・井戸などを検出している。

出土遺物には、かわらけ・越前焼・瀬戸美濃焼・瓦器・中国製陶磁器・漆塗椀・銅銭・鉄鏃・鉄釘・土師器・須恵器などがあり、大半が一四世紀から一五世紀のものである。木簡は素掘り井戸の埋土中から、かわらけ・越前焼・漆塗椀片とともに出土している。

8 木簡の釈文・内容



104×(68)×1 081

左右両端は欠損している。両面に墨書が認められるが、表面中央やや下部に「か」「く」らしき文字が確認できるだけで、文意はとれない。

(大川進)

